「新しい体育館づくいに向けて」 かわら版

令和2年2月

~市民に優しく、愛される体育館を目指して~

市では、老朽化した体育センターを建て替えるため、「日向市総合体育館整備基本構想」を策定しましたので、新しい体育館の建設に関する疑問にお答えします。



Q1. なぜ、体育センターを建て替えるのですか。

- A. ●「体育センター(昭和45年建設)」と「武道館 (昭和48年建設)」は、施設の老朽化が進み、耐震 性にも 課題があるため、早急な建替えが必要です。
 - ●利用者数は、市のスポーツ施設のなかで最も多く (体育センター:約5万1千人/年)、老朽化した施設 の整備充実を図ってほしいという市民のニーズが 高まっています。
 - ●現在の体育センターは、アリーナ面積が916㎡ (バスケットボール1面又はバレーボール2面)で、 県内の施設と比較しても小さな施設となっており、 地区大会や県大会等の開催が、難しい状況となっています。



Q2. なぜ、大王谷運動公園に建設するのですか?

A. 「お倉ヶ浜総合公園」は、大津波が発生した時に大きな被害が想定されていることから、「市街地」と「大王谷運動公園」のどちらが建設場所として適しているかを比較検討した結果、「大王谷運動公園」が適していると判断しました。

なぜ大王谷運動公園に建設するの?

- ●建設に必要な広さの土地を、市が所有している土地で確保できます。
- ●有利な補助金が使えるため、市の財政負担が軽くなります。
- ◎大王谷運動公園は、高台のため、津波による被害が想定されていません。

市街地を選ばなかった理由は?

- ●駐車場等を含めて、市が所有している土地の中には、建設に必要な広さの土地がありません。
- ●補助金が少なく、大王谷運動公園に比べて、市の財政負担が2倍以上になります。
- ●津波の被害が想定されています。

Q3. 体育館の規模は?

A. これまで開催できなかった地区大会や県大会にも対応できる他市と同規模の体育館を想定していますが、延岡市に県立体育館が整備されることなどを踏まえ、以前の構想より、規模を縮小しました。 誰もが安全で安心して利用できるように、ユニバーサルデザインによる人に優しい施設を整備します。

	スポーツ施設整備基本構想 (平成30年5月策定)
アリーナ	バスケットボール <u>3面</u> 又はバレーボール <u>4面(約2,400㎡</u>)
武道場	武道場を併設
観客席	※本構想策定時には、想定していません
諸室	備蓄倉庫等
延床面積	※本構想策定時には、アリーナ面積のみ検討



Q4. 災害時には、どのような利用を考えているのですか?

- A. ●発災直後の一時避難所としての活用も考えられますが、主に中長期的な避難所として想定しています。 (アリーナ面積より、約630人の長期避難所生活が可能)
 - ●災害時に必要な飲食物や毛布等を保管する備蓄倉庫や非常用電源、貯水タンク等を備えた施設を整備します。
 - ●隣接する陸上競技場に臨時ヘリポートが設置されることになり、けがや病人の搬送、支援物資の受け入れ等、迅速な対応が可能となります。

Q5. 建設に必要な費用は?

A. 建設費や建設後の維持管理費用などを含めて、今後の基本計画や基本設計の際に検討します。

Q6. 市の財政負担は?

A. 仮に、建設費を30億円(延床面積6,000㎡×建設単価50万円/㎡)と想定した場合、「大王谷運動公園」の場合は、事業費の半分に国の補助金が活用できます。

しかし、「市街地」の場合は、国の補助金が少なく、借り入れが多くなるため、大王谷運動公園と 比較すると2倍以上の負担になります。**また、用地を購入する場合は、別に負担も発生します。

■市の負担額の試算(仮に、建設費を30億円と想定した場合のイメージ)



Q7. 水泳場(プール)をなくすのですか?

A. 大王谷運動公園の水泳場は、老朽化が進み、 夏季の約1ヵ月間開設するための維持管理 (年間約900万円)や大規模な改修には、多額 の費用が必要な状況を踏まえ、水泳場を取り 壊して建設することにしました。

水泳場の代替案としては、学校の夏休み期間中のプールの開放を検討しています。



Q8. 駐車場は、増やさないのですか?

A. 現在の大王谷運動公園全体の駐車台数は 約350台で、様々な大会の開催時には、 駐車場が不足することから、水泳場に隣接 する芝生広場等を駐車場にして150台程度 増やすことを想定しています。

(運動公園全体で500台程度になります。)

【お問い合わせ】 日向市資産経営課 Ta:66-1013

